学校番号	１０８

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３
使用教科書	精選　現代文Ｂ　改訂版（筑摩書房）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）　他						

１ 担当者からのメッセージ

・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。活動の様子や内容も評価の体表とします。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・ただ読むだけではなく、読んで理解した後、そのテーマについて自分はどう考えるかを意識しましょう。またその際には自分本位な考えではなく、他者の目を意識し、客観的に考えるようにしましょう。
・様々な種類の文章を読み、理系・文系問わず広い教養を身につけましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・表現された内容や事柄を、目的や場に応じて間違いなく理解し、その論理性を評価できる。
・人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して適切に表現したり的確に理解したりし、どのような問題に対しても他者と協働的に解決していく能力を身に着ける。
・言語を手掛かりとしながら物事を筋道立てて考え、どのような問題に対しても、他者の批判に耐えうる解決策を導けるような創造的かつ論理的な思考力を身に着ける。
・言語活動における表現と理解との具体的な場面を通して、目的や場に応じた言葉の適切さや美しさについての感覚を洗練し、表現と効果について吟味し、適切な評価や判断ができるようにする。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論文を読む	【近代以降】 教材: 「『自然を守る』ということ」	○		○	◎		a:論理の展開のしかたや要旨をとらえ、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。 c:現代社会の問題を、自分自身の問題として捉えさせ、また、自分なりの考えや主張をまとめさせる。 d:論理の展開のしかたを理解し、要旨を正しく理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c:ワークシート 定期考査 d:記述の確認及び定期考査
	小説を読む	【近代以降】 教材: 「舞姫」	○	○		◎		a：複合的な文体を持つ特殊な「語り」に気付かせ、小説の可能性や感想について積極的に交流しようとしている。 b:作品を読んで考えたことについて、自分の意見を明確にして積極的に話し合っている。 d:場面の展開に即して、主人公の心の移り変わりを相対的に捉えている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:発表 d:記述の確認及び定期考査
	評論文を読むⅡ	【近代以降】 教材: 「Not I ,not It…」	○	◎		○		a:自分の生活を振り返りながら、ここで議論されている「自然の贈与」や「充溢した無」という考え方への考察を深めようとしている。 b:さまざまなエピソードを結びつけながら展開される文章の構成について、自分の意見を明確にして、話し合いに参加している。 d: 鍵となる語の意味を抑え、論旨を正確に理解しようとしている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認 d:観察･定期考査
	詩歌	【近代以降】 教材: 「短歌」	○			◎	○	a:短歌の表現内容と表現方法への理解を深めている。 d:それぞれの作品にうたわれている情景や心情を読みとっている。 e:それぞれの作品の用語・語法・修辞などについての理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2学期	評論文を読むⅢ	【近代以降】 教材: 「陰翳礼讃」	○	○			◎	a:教材文を通じて、日本文化というものへの認識を深めようとしている。 b:筆者の美意識に対する自分の意見を明確にして、話し合いに参加している。 e:耽美派の作家について、大まかな知識を持つ。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 e:小テスト及び定期考査

	小説を読むⅡ	【近代以降】 教材: 「藤野先生」	○	◎			○	a:登場人物の心の移り変わりを読みとり、小説を読み深めるおもしろさを味わっている。 b:作者にとって藤野先生がどのような存在だったのかを考え、他の人と感想を交流している。 e:歴史背景や語句の意味を注や辞書を手がかりにして理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察及び定期考査 e:小テスト
	評論を読むⅣ	【近代以降】 教材:「リスク社会とその希望」	○	◎	○			a:文章の論理的な展開をたどりながら読み進めようとしている。 b:筆者の主張がどのようになされているか理解し、文章にまとめている。 c:「リスク社会とその希望」とはなにかについて、的確に読みとっている。	a:行動の観察及び記述の点検 b: ワークシート定期考査 c:記述の確認及び定期考査
	詩歌	【近代以降】 教材:「表札」	○			◎	○	a:表現内容と表現方法への理解を深めている。 d:情景から心情を読みとっている。 e: 修辞などについての理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 b: ワークシート定期考査 c:記述の確認及び定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
3学期	俳句	【近代以降】 教材: 「俳句」	○	◎			○	a:俳句の表現内容と表現方法への理解を深めている。 b:それぞれの作品にうたわれている情景や心情を読みとっている。 e:季語・切れ字・取り合わせなど俳句についての基礎的な知識を理解している。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論文を読むⅤ	【近代以降】 教材: 「無常ということ」	○	◎			○	a:教材文を通じて、歴史というものへの認識を深めようとしている。 b:筆者の「歴史」観に対する自分の意見を明確にして、話し合いに参加している。 e:兼好、鷗外、宣長、川端康成といった本文中で言及されている人物について、大まかな知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。